



将来ビジョン「基本理念」「基本方針」案

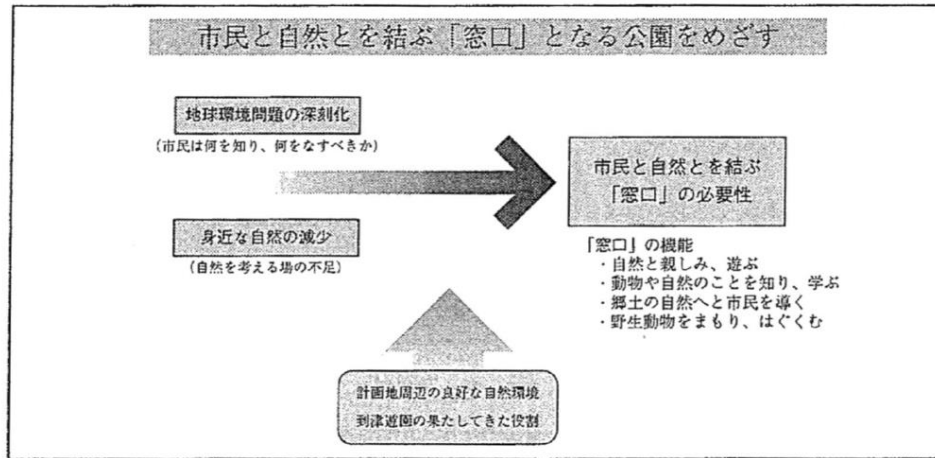
2023年10月24日



到津の森公園将来ビジョン「基本理念」「基本方針」検討フロー

【現基本計画の構成】

<基本理念> 「市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園をめざす」



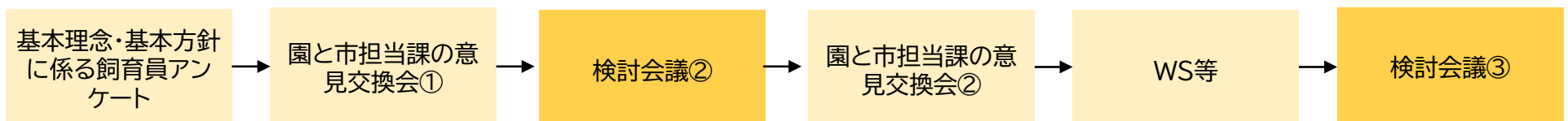
<基本方針>

- ・ 自然環境や動物とのふれあいを通じて楽しみながら学習する
「自然環境教育施設」とする。
- ・ 市民や企業などから様々な協力が受け入れられる
「市民が支える公園」とする。
- ・ 良質なサービスを継続的に提供するため
「効率的な運営」を目指す。
- ・ 県と協議・協力し
「中央公園と一体的な整備」を行う。

新ビジョンにおいても同様に以下の2段階の構成とする

- ・ 園として目指す姿を表す「基本理念」
- ・ 基本理念の実現のための取組方針を示す「基本方針」

【基本理念・基本方針の検討フロー】



【参考】他都市ビジョンの骨子

■ 基本理念（例）

- ・『天王寺動物園101(いちまるいち)計画』～おもろい・あきない・みんなの動物園をめざして～
(大阪市天王寺動物園)
- ・生命(いのち)をつなぐ 持続可能な地球環境を次世代に(名古屋市東山動植物園)
- ・命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園(札幌市円山動物園)
- ・わくわく、ふれあい、みんなでつくる動物公園(川崎市夢見ヶ崎動物公園)
- ・動物を身近に感じ、楽しみ、学べる杜の都の魅力ある動物園(仙台市八木山動物公園)

■ 基本方針（例）

名古屋市東山動植物園

- ・「見るもの」と「見られるもの」の垣根の除去 ・希少動物の「保護」と「増殖」への貢献
- ・「娯楽」と「学習」の両立 ・「動物園」と「植物園」の融合 ・「東山の森」と「動植物園」の一体的活用

神戸市王子動物園

- ・種の保存など、生物多様性保全に貢献する動物園『まもる』
- ・動物を通して自然や環境への扉をひらく教育の推進『まなぶ』
- ・希少動物の保全や動物福祉の向上に資する調査・研究の推進『ふかめる』
- ・誰もが安全に安心して楽しめる憩いの場の創出『たのしむ』
- ・市民・地域・来園者と共に歩み行動する動物園『はぐくむ』

川崎市夢見ヶ崎動物公園

- ・施設の計画的なリニューアルに合わせた展示の工夫や園内の利便性・快適性の向上
- ・夢見ヶ崎動物公園全体の特色を活かした体験やふれあいができるプログラムの充実
- ・夢見ヶ崎動物公園の魅力伝える効果的な情報発信力の強化
- ・多様な主体との連携の充実による賑わいの創出や、収益性の向上に向けた取組及び持続可能なマネジメントの構築

「現行の基本計画」と「新将来ビジョン」

現行の基本計画

【基本理念】

市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園をめざす

【基本方針】4つの方針

市民や企業などから様々な協力が受け入れられる
「市民が支える公園」とする。

自然環境や動物とのふれあいを通じて楽しみながら
 学習する**「自然環境教育施設」**とする。

良質なサービスを継続的に提供するため
「効率的な運営」を目指す。

県と協議・協力し
「中央公園と一体的な整備」を行う。

新将来ビジョン

【基本理念】

※本日の検討課題

【基本方針(案)】～新たな6つの方針を提案～

みんなに愛され、一緒に作っていく
市民とともに歩む公園

自然や命の大切さへの理解を深め、楽しく学べる
自然・環境教育施設

人それぞれに合った楽しみ方、過ごし方ができる
多様な楽しみのある公園

動物がおりのまま幸せに暮らすとともに、
 誰もが安心して過ごすことができる
動物も人も幸せな空間

公園の自然や立地、ここにしかない価値を追求し
到津の森の“強み”を生かす

質の高いサービスを提供し続ける
持続可能な施設運営

新たな視点

「基本理念」案

【現計画の基本理念】

市民と自然とを結ぶ『窓口』となる公園をめざす

【意見交換会で出されたキーワード/意見】

- いのち
- つなぐ・つながる、ZOOとつながる到津の森公園、いのちつなぐ
- 想う、動物・人・まちを想う
- 育む
- 学び・学習
- みんなで作る、笑顔になる、集まれみんな(動物も含め)動物園
- 地域
- 変わり続ける動物園
- ここにしかない

OR

現行の基本理念が端的に到津の森公園の目指す姿を表現できているため踏襲

【飼育員等によるアンケートで出された意見】

- 1年を通して、四季の草花と動物を身近に感じられる公園。
- 教育施設でもある一方で、娯楽施設の顔も併せ持つ。博物館にはない、いまその瞬間に出会える「いのち」に対し、人は心を動かされ、自然の中の「人間の私」を感じることでできるかけがえのない場所。
- 来園者が求めるものは、動物を見る、鳴き声を聞く、触れ合うことで、動物に関する知識を得ることや、植栽も含めて動物園という非現実的な空間を楽しむことではないか。「動物に関する専門性の向上」や「快適な空間づくり」を目指してはどうか。
- 「市民が支えたいと思える公園」とする。
- 集客重視の娯楽施設ではなく、博物館等の教育施設として位置づけ。

「基本方針」案

現在の基本方針の総括、第1回検討会議、関係者意見交換会等を踏まえ6つの基本方針(案)を提案

① みんなに愛され一緒に作っていく「市民とともに歩む公園」

【設定理由】

- ・ 開園以来、市民ボランティア、民間団体、動物サポーター・友の会など、多くの市民に支えられ、20周年、来場者800万人超など、みんなに愛され続けており、「市民が支える公園」の方針は継承。
- ・ 市民が「支える」だけでなく、市民が「支えたい」「ともに歩む」等をイメージ。
- ・ 「市民」だけではなく転出していった「元市民」などにも着目するとともにシビックプライドを醸成。
- ・ 今後も市民や企業などから様々な協力が得られる方針が重要。

【キーワード】

- ・ みんなに愛される、ともに歩む、支えたい
- ・ 関係人口
- ・ シビックプライドの醸成
- ・ 市民協働
- ・ 公園と市民の双方向のコミュニケーション

② 自然や命の大切さへの理解を深め、楽しく学べる「自然・環境教育施設」

【設定理由】

- ・ 小学生等を対象とした環境学習プログラム、林間学園の長期継続など独自のプログラムを充実させ、自然や環境に関する教育施設としての役割を担う。
- ・ 希少動物の保護、地域の生態系、SDGsなどについて、他機関や大学等と連携しながら、調査・研究を実施。
- ・ 研究を通じて、より専門的な知識を来園者等に伝えるとともに、教育プログラムの充実や学びの価値向上、教育の豊かさにつなげる。

【キーワード】

- ・ SDGs達成への貢献
- ・ 生物多様性保全、希少動物の保護
- ・ 教育プログラム
- ・ 学びの価値
- ・ 教育の豊かさ
- ・ 命の大切さ
- ・ 環境教育
- ・ 調査研究
- ・ 夜ZOO

「基本方針」案

③ 人それぞれにあった楽しみ方、過ごし方ができる「多様な楽しみのある公園」

【設定理由】

- 年齢やライフスタイルなどにとらわれない様々な利用スタイルを推進。
- 植物や写真撮影、散歩、地域活動など、動物以外の過ごし方の充実。
- 地域住民や学生等による公園の新たな活用の推進。
- 他の近隣施設(スターバックスコーヒー、中央公園、いのちのたび博物館など)と連携した多様な楽しみ方。

【キーワード】

- 様々な利用スタイル
- 動物以外の楽しみ方
- 地域住民による活用
- 時代にあった施設・サービス
- 施設間連携
- スタバとの連携

④ 動物がおりのまま幸せに暮らすとともに、誰もが安心して過ごすことができる「動物も人も幸せな空間」

【設定理由】

- 動物が快適に暮らせる飼育環境、飼育動物の選定、人と動物のふれあいのあり方など、動物の福祉と人が楽しむこととのバランス。
- 多くの自然がある園の特徴を生かした生態展示を促進。
- 足腰に不安がある人や雨天時でも、安心して楽しむことができるユニバーサルな公園。

【キーワード】

- 動物福祉の取り組み、市民への啓発
- 「人の楽しみ」と「動物の幸せ」のバランス
- 自然を生かした生態展示
- ふれあい体験の在り方
- ユニバーサルな公園

「基本方針」案

⑤ 公園の自然や立地、ここにしかない価値を追求し「**到津の森の“強み”**」を生かす

【設定理由】

- ・ 園の強みを洗い出し、ターゲットに応じた方向性を整理。
- ・ 自然の中で暮らす動物の姿、声、臭い、動物とのふれあいや、園での飲食など、五感で楽しむことができる価値の向上。
- ・ 都会の中で自然を楽しむ、近隣施設との連携を深めるなどの価値を向上。
- ・ 開園以来、市民ボランティア、民間団体、基金・友の会など、多くの市民が支えていることの価値。
- ・ 園の強みを生かした飼育展示の在り方を追求。
- ・ 生物の生息場所である園内の環境、自然の保全強化。

【キーワード】

- ・ リアルな動物に会える特別感、価値を追求
- ・ 都市の中の自然、生物の生息場所
- ・ 周辺施設との連携
- ・ 多くの市民が支えていることの価値
- ・ 飼育動物の飼育展示の在り方

⑥ 質の高いサービスを提供し続ける「**持続可能な施設運営**」

【設定理由】

- ・ 指定管理者制度により、安定的・効率的な動物の飼育、園の運営を実施中。
- ・ コスト削減だけでなく、収益アップを目指す。
- ・ 収益の活用、民間活力の活用による、サービス、コンテンツの充実。
- ・ 飼育等の専門人材の育成や園内において様々な役割を担うボランティア等の拡充。
- ・ 今後の施設の在り方等を考慮した長寿命化の検討。

【キーワード】

- ・ 持続可能な運営
 - ・ 効率的な運営
 - ・ 稼ぐ、収益UP
 - ・ 民間活力、Park-PFI
 - ・ 施設の長寿命化
- } による
 サービス・
 コンテンツ
 の充実

【その他】

- ・ 若者世代をターゲットとしたSNSへの積極的な取り組みなど情報発信方法の見直し、充実が必要。
- ・ 勉強会やワークショップ、会議、他施設との研究などによる職員等のスキルアップを図るとともに他施設と積極的な交流に取り組む